

平成26年も残り少なくなり、27年を迎える準備として毎年この時期、周辺の松を取ってきてしめ飾りを玄関の前に飾りつけました。

今日は、朝からチラチラ雪の日、昼ごろ急に風が吹き出しました。これはもっと強くなってはと思い、重い腰を上げ、松を調達に行くことにしました。

清水高原の1200m付近の積雪は60cmくらいになっていて、小さい松は雪の中、直径10cmの松の木は切れそうだがなかなか切るまでの勇気がわからず、結局直径5cmで高さ3mの木を一本切って済ませました。



子供の頃の暮の思いでは、寒くていやな事として、暮の大掃除があった。縁側のある家で、窓ガラスのある

戸を開けてのガラス拭きは寒くて冷たくて、早く終わってほしいと祈っていました。

正月準備と冬の準備として、家族ぐるみで行っていた事として、お菜洗いと野沢菜漬け・大根洗いと大根干しと大根漬け・餅つきと餅切り・大掃除・しめ飾り・おせちの準備等がありました。

今では、小掃除としめ飾りだけになってしまった暮れの行事、なんとか続けていけたらいいと思います。

余談ですが、しめ飾りのパーツとしては、縄がありますが、市販のでは長さが足りないもので、あらかじめロール状のものを買い置きしてあります。その他の

部品としては、良く町のお祭りのときに町中にそれをつけた縄を張った、名前は紙垂(しで)、最後に先が細くなっていく部品のごぼうめ。

